

「応援したい」思いを活かす ～ふるさとにいみ応援基金～

ふるさと納税でいただいた寄附金は、人と地域が元気なまちづくりの推進と本市のさらなる発展のため、「ふるさとにいみ応援基金」に積み立てて、各種事業に活用しています。

【産業・経済分野】

A級グルメフェア開催事業

- 1 使 途 産業の活力を高め、持続可能な地域経済をつくる事業
- 2 目 的 本市の「A級（食材）グルメ」の、都市部等への効果的なPRを図ります。
- 3 概 要 東京都千代田区内で、A級グルメをはじめとした特産品の販売や、食材を使った料理の提供を行うとともに、観光やふるさと納税など「ふるさと新見」のPRを実施しました。
- 4 活用額 726千円



観光事業協議会提案事業(まぼろしの滝環境整備)

- 1 使 途 産業の活力を高め、持続可能な地域経済をつくる事業
- 2 目 的 自然派志向の観光客を呼び込み、地域活性化を図ります。
- 3 概 要 本市の北部、千屋地域にある「まぼろしの滝」へ続く既設遊歩道において、千屋地域住民と協力し、維持管理や環境整備を行いました。
- 4 活用額 599千円



観光PR事業実施委託

- 1 使 途 産業の活力を高め、持続可能な地域経済をつくる事業
- 2 目 的 来訪者の主なターゲットエリアである関西圏等へ本市の観光施設・観光資源を情報発信し、観光誘客の促進を図ります。
- 3 概 要 主要観光資源である満奇洞等を市内外へ情報発信したほか、さらなる誘客に向けて新見市ふるさと大使を活用した観光PR動画（CM）を作成しました。
- 4 活用額 2,530千円



FAN補助金事業

- 1 使 途 産業の活力を高め、持続可能な地域経済をつくる事業
- 2 目 的 市民相互の親睦を図るとともに、本市の魅力を市内外へ発信し、交流人口の拡大及び地域経済の活性化に寄与することを目的に実施します。
- 3 概 要 本市の魅力を市内外に発信するためのイベント「FAN2024」を開催しました。当日は、「A級の誇り」と称する千屋牛などの本市特産品のPRや、ひのきを用いたワークショップなどを実施したほか、新見市マスコットキャラクター「にーみん」や新見市ふるさと大使である石原氏（チキチキジョニー）のステージイベントを行いました。
- 4 活用額 4,350千円



【産業・経済分野】

大阪環状線満奇洞等AD(アド)トレイン観光PR事業

- 1 使 途 産業の活力を高め、持続可能な地域経済をつくる事業
- 2 目 的 「森の芸術祭 晴れの国・岡山」開催にあわせて、本市への誘客促進を図ります。
- 3 概 要 JR大阪環状線の車両1編成の車体・車内広告枠を活用し、満奇洞等新見市の観光資源及び国際芸術祭「森の芸術祭 晴れの国・岡山」の開催を周知する情報で独占した「AD(アド)トレイン」として約1か月間運行しました。
- 4 活用額 11,983千円



サル被害防止複合対策事業

- 1 使 途 産業の活力を高め、持続可能な地域経済をつくる事業
- 2 目 的 ニホンザルによる農作物への被害を軽減するため、GPSによる位置情報などを活用した効果的な被害防除の体制整備を図ります。
- 3 概 要 ニホンザルの個体数や位置情報を把握するため、センサーカメラやGPS受信基地局などを整備しました。
- 4 活用額 1,779千円



学校給食地域特産物利用促進事業

- 1 使 途 産業の活力を高め、持続可能な地域経済をつくる事業
- 2 目 的 地産地消・食育の一環として、市の特産物を学校給食に利用することにより、子どもたちが地域農畜産業の理解を深めるとともに地域特産物の消費拡大を図ります。
- 3 概 要 地産地消、食育の一環として、学校給食に地域特産物を導入し、地域特産物の購入単価と県学校給食単価との差額を助成しました。
- 4 活用額 2,461千円



【健康・福祉分野】

移動販売車購入支援事業

- 1 使 途 健やかに暮らせ、子育てができるまちをつくる事業
- 2 目 的 移動販売を行う事業者を支援し、買物を行う機会の確保及び利便性の向上を図ります。
- 3 概 要 食料品や日用品の買物に課題を抱える高齢者等の買物を行う機会を維持することを目的として、移動販売を行う事業者に対して、移動販売車の購入に係る費用の一部を補助しました。
- 4 活用額 380千円



【教育・文化・スポーツ分野】

高尾小学校遊具設置工事

- 1 使 途 誰もが生き活きと輝く個性を育むまちをつくる事業
- 2 目 的 高尾小学校の遊具を更新し、児童の安全確保及び教育環境の充実を図ります。
- 3 概 要 老朽化により撤去となった遊具の後継として、最新の安全基準に適合したジャングルジムを設置しました。
- 4 活用額 1, 199千円



中1ギャップ解消事業

- 1 使 途 誰もが生き活きと輝く個性を育むまちをつくる事業
- 2 目 的 小中学校の交流活動を充実させ、中1ギャップの解消を図ります。
- 3 概 要 中学校区ごとに出席体験授業、部活動体験、交流活動を行いました。今後も小中学校の接続の円滑化及び長期欠席・不登校を未然防止するための体制づくりを進めます。
- 4 活用額 746千円



中学生自転車ヘルメット購入事業

- 1 使 途 誰もが生き活きと輝く個性を育むまちをつくる事業
- 2 目 的 本市では自転車を利用している生徒も多くおり、ヘルメットを配布することで通学や日常生活での自転車利用時の安全を守り、また安全意識の醸成を図ります。
- 3 概 要 次年度中学校へ入学する市内小学校6年生に自転車用ヘルメットを配布しました。
- 4 活用額 950千円



ICT活用教育推進事業(新見市ドローンプログラミング教育支援委託事業)

- 1 使 途 誰もが生き活きと輝く個性を育むまちをつくる事業
- 2 目 的 多方面で活用が進む「ドローン」を活用したプログラミング教育を行う中で、目的をもった活用方法を教育し、児童生徒の論理的思考力の伸長を図ります。
- 3 概 要 本市とドローンの活用に関する連携協定を結ぶ山佐(株)ドローン事業部協力のもと、市内全小中学校においてドローンを活用したプログラミング教育を実施しました。
- 4 活用額 1, 650千円



【教育・文化・スポーツ分野】

公民館ワイヤレスマイク更新事業

- 1 使 途 誰もが生き活きと輝く個性を育むまちをつくる事業
- 2 目 的 市内公民館で使用しているワイヤレスマイク・音響設備の更新を行います。
- 3 概 要 市内公民館で使用しているワイヤレスマイク・音響設備のうち、電波法改正により使用できなくなるものについて、引き続き公民館利用者や公民館主催事業で活用できるように機器更新を行いました。
- 4 活用額 3, 2 6 3 千円



法曾陶芸館火焰土器展開催負担金事業

- 1 使 途 誰もが生き活きと輝く個性を育むまちをつくる事業
- 2 目 的 本物の火焰型土器を展示し、縄文時代の造形美に触れる機会を提供します。
- 3 概 要 新見市法曾陶芸館において、企画展「縄文美らんまん 火焰土器展」を開催し、新潟県津南町と三条市で出土した本物の火焰型土器など30点を展示しました。
- 4 活用額 8 0 0 千円



スポーツ施設機器更新事業

- 1 使 途 誰もが生き活きと輝く個性を育むまちをつくる事業
- 2 目 的 経年劣化した施設設備や作業機械など更新し、健全な施設管理及び安心安全な施設利用を図ります。
- 3 概 要 施設の維持管理、イベントの催行に必要な送信機、草刈り機を更新しました。
- 4 活用額 6 2 3 千円



高校魅力化推進事業

- 1 使 途 誰もが生き活きと輝く個性を育むまちをつくる事業
- 2 目 的 高校の新たな魅力向上を図り、生徒が充実した学校生活を送るための支援を行います。
- 3 概 要 指定する資格を取得した市内高校生に検定料などを助成しました。また、新見高校の部活動を充実させるため、ソフトテニス部、バドミントン部に生徒が希望する指導者を派遣し、技術向上を図りました。さらに、英検準2級取得者を対象とし、長期休業中に英語圏へ短期海外留学（ホームステイ等）する生徒に対し助成しました。
- 4 活用額 1, 2 6 6 千円



【安全・生活基盤分野】

常備消防器具購入事業(煙体験テント、化学防護服)

- 1 使 途 安全で、市民生活を支えられるまちをつくる事業
- 2 目 的 新見市消防本部の資器材整備を行い、市民生活の「安全・安心」の確保に向け、災害に強いまちづくりを図ります。
- 3 概 要 火災が起きた際に煙が充満していく様子を再現し、どのように行動するべきかを体験できるテント、化学災害時に着装する防護服を整備しました。
- 4 活用額 895千円



消防団員活動服整備事業

- 1 使 途 安全で、市民生活を支えられるまちをつくる事業
- 2 目 的 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、国において消防団員の処遇改善や装備品の充実に向けて基準が示されたことから、消防団員の活動服を更新するものです。
- 3 概 要 約1,000人の消防団員の活動服を2年計画で500着ずつ更新する事業の第1期目が完了しました。
- 4 活用額 7,994千円



自動車急発進防止装置整備費補助金事業

- 1 使 途 安全で、市民生活を支えられるまちをつくる事業
- 2 目 的 高齢者運転者交通事故防止のため、ペダル踏み間違い時の事故を抑止する後付けペダル踏み間違い急発進抑制装置の普及を図ります。
- 3 概 要 後付けペダル踏み間違い急発進抑制装置設置費用の3分の2(上限10万円)を助成しました。
- 4 活用額 259千円

新見市自動車急発進防止装置整備費補助金
(令和4年度から令和6年度の3年間)

高齢運転者の交通事故防止のため、ペダル踏み間違い時の事故を抑止する後付けペダル踏み間違い急発進抑制装置の普及を図ります。

◎対象となる方(次の全てを満たす方)
① 事故防止に役立つ技術が導入した方(今後導入を意図し準備中の方を含む。)*
② 有効な自動車保険契約を保有している方
③ 自動車検査簿に記載された所有者または使用者である方
④ 運転免許の取得が完了している方
⑤ 東力株式会社にご相談下さい

◎補助対象となる自動車急発進防止装置
国土交通省の指定認定を受けたもので、ペダル踏み間違いによる急発進・加減速・制動などの危険を回避する装置

◎対象となる後付けペダル踏み間違い防止装置につきましては、国土交通省のホームページでご確認ください。
国土交通省HP: https://www.mtl.go.jp/hojoho/hojoho_17022kxvsnvz.html

自動車急発進防止装置の購入および設置費の**3分の2(最大額10万円)**を補助します。

自転車用ヘルメット着用促進事業補助金事業

- 1 使 途 安全で、市民生活を支えられるまちをつくる事業
- 2 目 的 自転車乗車中の事故による負傷を軽減させるため、ヘルメット着用の普及を図ります。
- 3 概 要 道路交通法の改正により、自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務化されたため、自転車用ヘルメット購入時の補助対象経費に対して、該当の補助金額分のにーみんポイントを付与しました。
- 4 活用額 238千円

国土交通省の改正により、自転車4輪のヘルメット着用が努力義務化されたことを受けて、新見市では自転車用ヘルメット着用促進事業を実施いたします。

自転車用ヘルメット着用促進補助金

◎対象者 自転車に乗る際にヘルメットを着用する方が多く、事故を減らすために、新見市では自転車用ヘルメット着用促進事業を実施いたします。

◎補助対象 国土交通省の指定認定を受けたもので、ヘルメット着用促進事業を実施している方

◎補助額 国土交通省の指定認定を受けたもので、ヘルメット着用促進事業を実施している方

◎申請方法 国土交通省の指定認定を受けたもので、ヘルメット着用促進事業を実施している方

◎申請期間 国土交通省の指定認定を受けたもので、ヘルメット着用促進事業を実施している方

◎お問い合わせ先 国土交通省の指定認定を受けたもので、ヘルメット着用促進事業を実施している方

【都市基盤・交通分野】

公募型鉄道利用促進事業

- 1 使 途 人と環境に配慮した質の高い都市基盤をつくる事業
- 2 目 的 J R利用者の増加を図ります。
- 3 概 要 市民団体等からJ R利用促進の提案事業を募集し、芸備線駅を利用した観光ツアーなどを行いました。
- 4 活用額 867千円



鉄道利用促進協議会負担金事業

- 1 使 途 人と環境に配慮した質の高い都市基盤をつくる事業
- 2 目 的 J R利用者の増加を図ります。
- 3 概 要 J R利用者の増加を図るため、「3人グループを作って鉄道に乗ろう！」の実施など利用促進の取組や利用啓発活動、各種イベント等を行いました。
- 4 活用額 1,000千円



無線LANアクセスポイント更新事業

- 1 使 途 人と環境に配慮した質の高い都市基盤をつくる事業
- 2 目 的 市民及び市内来訪者の利便性向上を図ります。
- 3 概 要 本庁・南庁舎・各支局、図書館・まなび広場に設置している無線LANアクセスポイントの更新を行いました。また、新たに哲西・神郷・大佐図書館にもアクセスポイントを設置し、Wi-Fiが利用できるようにしました。
- 4 活用額 18,260千円



城山公園あずまや屋根改修事業

- 1 使 途 人と環境に配慮した質の高い都市基盤をつくる事業
- 2 目 的 老朽化したあずまやの屋根を改修し、憩いの場としての継続的な利用と景観改善を図ります。
- 3 概 要 安全で快適な利用と景観の美化のため、老朽化した城山公園内のあずまや屋根の改修工事を行いました。
- 4 活用額 1,534千円



【都市基盤・交通分野】

都市公園ベンチ設置事業

- 1 使 途 人と環境に配慮した質の高い都市基盤をつくる事業
- 2 目 的 都市公園内にベンチを設置し、公園の利便性の向上を図ります。
- 3 概 要 公園利用者の休息や憩いの場となるよう、新見市防災公園内に2基のベンチを設置しました。
- 4 活用額 242千円



【環境分野】

ごみの行方教材用DVD作成事業

- 1 使 途 自然を守り、安らぎと潤いのある環境をつくる事業
- 2 目 的 小学生へごみ分別の周知を図り、分別やごみの減量化に関する意識向上を図ります。
- 3 概 要 小学4年生を対象に毎年行うごみの行方事業で使用する教材用DVDを作成しました。今後ごみの行方事業において活用し、小学生の環境意識の高揚に努めます。
- 4 活用額 605千円



ごみ分別パンフレット作成事業

- 1 使 途 自然を守り、安らぎと潤いのある環境をつくる事業
- 2 目 的 市民へのごみ分別や正しい方法について周知を図り、リサイクル率の向上につなげます。
- 3 概 要 令和7年4月に開始するプラスチックの分別収集に合わせて、家庭ごみの分別方法や出し方をまとめたパンフレットを作成しました。
- 4 活用額 1,478千円



【交流・コミュニティ分野】

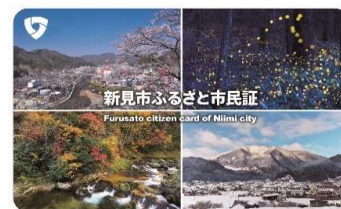
ふるさと納税等PR事業

- 1 使 途 多様な人が集い、交流し、活躍するまちをつくる事業
- 2 目 的 本市の特産品や地域プロモーションの幅を広げ、ふるさと納税寄附件数や観光客の増加を図ります。
- 3 概 要 本市の魅力的な特産品のPR動画を作成し、デジタルサイネージや検索広告、YouTube広告などにより、1億5千万円の寄附をいただきました。
- 4 活用額 1, 4 4 7 千円



関係人口創出事業

- 1 使 途 多様な人が集い、交流し、活躍するまちをつくる事業
- 2 目 的 本市のまちづくりに関わる人口の創出を図ります。
- 3 概 要 関係人口を活用した地域づくりのため、本市の応援団となる市外在住者に対し、「ふるさと市民証」を交付し、市内対象施設で利用できる半額助成券を送るなど来新の機会を創出しました。
- 4 活用額 9, 0 4 0 千円



ふるさと市民に一みーとツアー事業

- 1 使 途 多様な人が集い、交流し、活躍するまちをつくる事業
- 2 目 的 本市のファンを増加させるとともに関係強化を図ります。
- 3 概 要 新見市ふるさと市民の登録者を対象に、石灰採掘場の見学やそば打ち体験、公立大学生との交流など普段体験することのできない新見の魅力を巡る「に一みーとツアー」を実施しました。
- 4 活用額 3, 5 9 7 千円

